様式第９

議　事　録

会　議　名	令和７年第２回愛知県蟹江警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和７年５月22日（木）午後３時から午後４時30分まで・講堂
出　席　者	１　委員　５名（定数８名） 竹市　五倫会長　　黒川　元則副会長　　藤本　俊宏委員 河村　美香子委員　　山口　秀作委員
	２　警察署員　８名 児玉署長　　岡﨑副署長　　柴原警務課長 佐藤生活安全課長　　森地域課長　　千賀刑事課長 鈴木交通課長　　亀島警備課長
	３　有識者等 無し

１　署長挨拶
２　転入幹部挨拶
３　会長挨拶
４　報告内容
(1) 管内の治安情勢
(2) 前回の意見・要望に対する具体的な施策の推進状況
ア　前回の協議事項
交通死亡事故抑止対策
イ　前回の意見・要望
・　歩行者に対する交通安全教育の推進
・　ドライブレコーダー映像等を活用した交通安全教育の推進
ウ　施策推進状況
・　管内の小学校、児童館、保育所で、横断歩道の渡り方を指導するなど交通安全教室を実施した。
・　人が集まるスーパーマーケット、コミュニティセンターで、反射材を配布し、その活用方法を指導するなど交通安全キャンペーンを開催した。
・　役場で、ドライブシミュレーターや横断歩道のシミュレーターを用い

た交通安全教室を実施した。

・　管内の小学校、高齢者サロンでドライブレコーダー映像を視聴してもらい、交通安全の指導を実施した。

５　協議事項

蟹江警察署の災害対処能力向上

６　発言の要旨

・　地域の災害拠点として、消防と一緒に防災訓練、災害訓練等に取り組むことはあるが、警察、消防、医療機関が一緒になった取り組みも必要である。

・　災害訓練を進めていくうえで必要なマニュアルやハザードマップ、地域住民とのコミュニケーションの中で、どのようにそれらを活用しながら進めていくのかが大事である。

・　災害に備え、どのような場所でも走行できるオフロードタイプのバイク、チューブレスタイヤの自転車、物を運ぶためのリアカー、台車、けん引トラクターなどが必要である。

・　災害時の連絡用としてデジタル衛星無線機があるようなので、地域と結びついて日頃から利用できるように訓練していくことも大事である。

・　災害訓練を行っているが、やはり単なる訓練で終わってしまっているのではないか、いざ本当に現場に出てどこまで対応できるか不安である。

・　地域とのコミュニケーションが取れていて、知っている顔があるということが一番大事であると思う。

・　地域との連携強化、装備資機材を使用した実戦的な災害訓練、ドローンやＡＩを使った災害情報の予測などができれば良いと思う。

７　意見・要望

・　防災関係機関との連携強化及び合同訓練の実施

・　装備資機材を活用した実戦的な訓練の継続

８　その他

(1) 会議の開催に際し、災害用の装備資機材を講堂内に展示した。

(2) 次回開催予定

令和７年８月下旬ころ

備考　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。